ProjectsAbroad

プロジェクトアブロード

Global Impact Report 2016

Aldsworth Parade, Goring-by-Sea,
West Sussex, BN12 4TX,
United Kingdom

www.projects-abroad.net

はじめに

プロジェクトアブロードのGlobal Impact Report 2016をご覧いただき、ありがとうございます。このリポートは、2016年の12ヶ月の間にプロジェクトアブロードのボランティア、スタッフ、現地の提携団体が成し遂げた功績をまとめたものです。

国際連合の持続可能な開発について

プロジェクトアブロードは、ミレニアム開発目標の次のステップとして国際連合（国連）が定めた17の持続可能な開発目標（SDGs）をサポートしています。このGlobal Impact Report 2016の多くのページに表示されているSDGsのマークは、プロジェクトアブロードの活動がそれぞれのSDGsの達成に貢献していることを意味しています。私たちが与える影響は世界中で行われている取り組みと比べると微力に感じるかもしれませんが、どんなに小さな貢献でも、その一つひとつが目標達成への着実な一歩につながると確信しています。

Projects Abroad
supports the the SDGs.

SDGsのマークは、SDGsのガイドラインに沿って使用されています。よろしければこちらから詳細をご覧ください：
http://www.un.org/sustainabledevelopment/news/communications-material/

ボランティアの皆さんへ

すでに活動国から帰国した方、ちょうど今現地で活動中の方、現在渡航に向けて準備中の方、さまざまな方がいらっしゃることと思います。Global Impact Report 2016が綴る世界中の地域コミュニティで収められた功績は、これらすべての皆さんの協力により実現したものです。このリポートでは、一人ひとりが貢献してくれた貴重な時間、出資、エネルギーに心から感謝をするとともに、積み重なった何千人もの貢献が長期的な開発目標達成に大きな役割を果たしていることを伝えられればと思います。皆さんの活動が現地で暮らす人々の生活に「違い」をもたらした一方で、今回の海外経験が皆さん自身の視野と将来の選択肢を広げ、人生に大きな影響を与えたのではないでしょうか。手を差し伸べる側／手を差し伸べられる側の両者の成長は、プロジェクトアブロードにとってこの上ない喜びです。

プロジェクトアブロードのスタッフへ

献身的、かつ行動力と個性あるプロジェクトアブロードのスタッフたち。彼らの存在がなかったら、このリポートに綴られている功績はどれ一つ実現しなかったでしょう。世界40ヶ国以上に拠点を置き、常に目標高く進化を続けるプロジェクトアブロードの各チームは、活動国の地域コミュニティの発展を支えてきました。プロジェクトアブロードが重んじる4つの価値観「Community（コミュニティ）」、「Contribution（貢献）」、「Company（企業）」、「Culture（文化）」は、スタッフの日々の懸命な努力と情熱に映し出されました。たった12ヶ月の間で遂げられたこれほどまでの成功は、今後世界でもっと大きな貢献を果たせるという潜在能力を証明しました。チームの一員として貢献してくれたスタッフ一人ひとりに感謝の気持ちでいっぱいです。

プロジェクトアブロードの提携・関連団体へ

プロジェクトアブロード及びプロジェクトアブロードのボランティアへのたゆまない協力に心から御礼申し上げます。プロジェクトアブロードは、学校、デイケアセンター、ケアホーム、国立公園、政府機関、地域に根差したコミュニティグループやビジネスなど何百もの活動先と携わり、支援することを誇りに思っています。提携・関連団体の皆さんの地域コミュニティや環境への心配りと献身は、ボランティア精神をさらに奮起させてくれます。今後、共有する目標達成に向けて連携をさらに強化していくことを楽しみにしています。

目次

はじめに 03
社会に与える影響 04
教育 04
英語力と読み書き能力の向上 04
幼児教育の促進 05
創造性のある教育 06
コミュニティ内での生涯学習 06
ホリデースクール 06
人権 07
女性の社会的地位の向上 08
ヘルスケア 09
保健と衛生 09
栄養管理 10
アウトリーチ活動 11
環境に与える影響 12
森林再生 12
汚染の食い止め 12
データ収集 13
経済に与える影響 14
自立の重要性 14
建築 15

毎月の歩み

1月

ペルー教育省と共同で行われている
Teachers Trainingプログラムに
現地人英語教師206人が参加。
教育ボランティアたちが、
クリエイティブな英語教育を伝授

社会に与える影響

教育

英語力と読み書き能力の向上

ケアプロジェクトの活動先の70の学校、デイケアセンター、孤児院で、教材へのアクセスの状況を調査しました。この結果をもとに、各活動先がサポートを必要としている分野の特定を行い、それに適した教材の準備をし、アクティビティを活動スケジュールに加えるなど、まずはプログラムの土台をしっかりと築きました。結果、文章力を高める教材、単語カード、現地語の本、英語の本などへのアクセスが改善されました。Literacy Rich Environments（読み書き能力向上に適した環境）を促進する活動は、まだまだたくさんの課題があります。しかし、以下のような進歩を記録するデータベースを使った評価や、的を絞った活動により、読み書き能力向上に適した環境が実現されていきます。2017年には、この活動が教育プロジェクトにも広まり、何千人ものボランティアが目標達成に協力していきます。

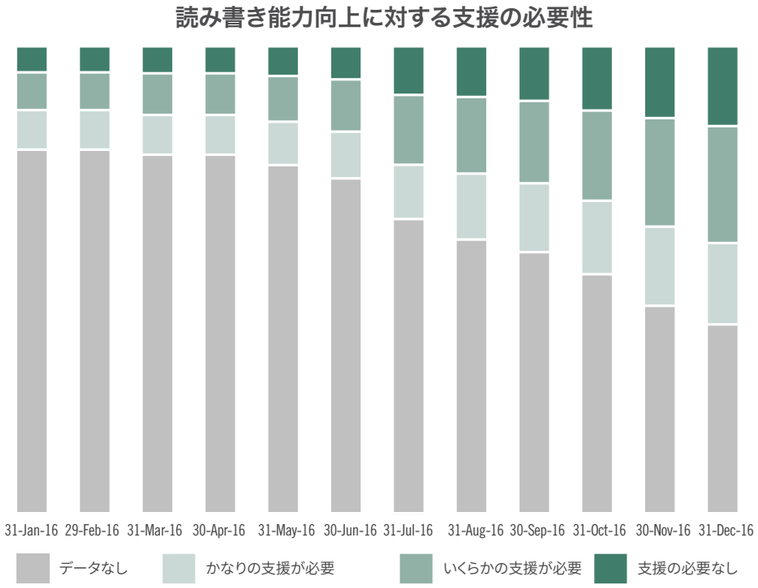
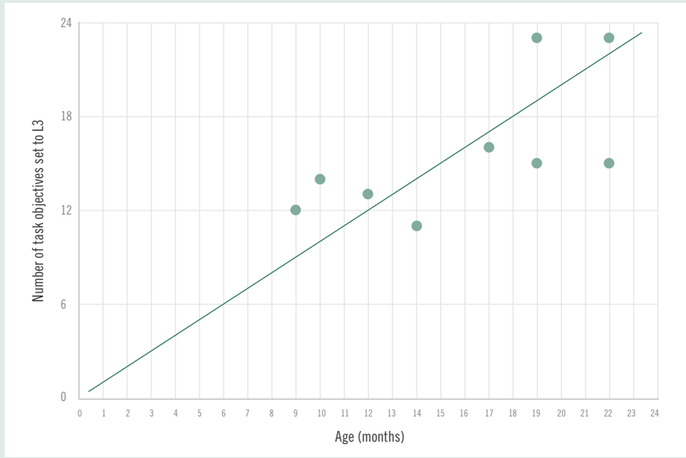


Figure 1. 全活動国における進歩ーデータ収集と読み書き能力向上のための教材へのアクセス



このグラフは、カンボジアのコミュニティデイケアセンターの4〜6歳の子供たちの読み書き能力の進歩を示しています。ボランティアたちが、斜めの線（予想される進歩の傾向）の下に位置する子供たちに的を絞ったサポートを提供。このグラフ作成のもととなった独自のデータベースは、教育プロジェクト、ケアプロジェクト、医療プロジェクトでの進歩を記録する確固たるプラットフォームとして使用されています。

幼児教育の促進

ケアプロジェクトが取り組む優先事項の一つは、幼児教育の評価と促進です。活動先の幼児たちの基本となる体の成長、運動能力、認識能力、言葉の発達、感情の表現、社交性の発達具合いを評価します。このリサーチは、地域、性別、施設の子供たちの発育の傾向を明らかにし、例えば、在宅ケアとコミュニティケアの比較を可能にします。現在までに、2,708人の子供たち一人ひとりのプロフィール作成に成功しています。

2,708人の子供たち
一人ひとりの
プロフィールを作成

身体／働き	Level 1 **一度も** 見受けられない	Level 2 **時々** 見受けられる	Level 3 **頻繁に** 見受けられる
親指と二つの指でクレヨンを掴む	○	○	○
10秒間跳ねることができる	○	○	○
手を洗い、乾かす	○	○	○
フォークを使って食べる	○	○	○
ファスナー、ナイロンテープを使える	○	○	○
監督下で歯を磨ける	○	○	○
利き手を理解する	○	○	○
でんぐり返しをする	○	○	○

Figure 2. 4〜6歳の子供たちへの幼児教育の評価の抜粋

2月

ネパールの大地震復興支援プロジェクトの
建築ボランティアたちが、
2015年の大地震によって被災した
学校の6校目の再建に着手

3月

ペルーの考古学プロジェクトの
ボランティアたちが、
新しい遺跡発掘現場での
作業に着手

創造性のある教育

子供たちの学習能力は一人ひとり異なり、それぞれに適したサポートが必要となるため、教材が不足がちな発展途上国の学校教育は一筋縄ではいきません。2016年、700人以上のボランティアが世界中の教育機関で子供たちへの教育に貢献しました。アシスタント教師として教室で授業を補助し、創造性に富んだ多くの教育プログラムを行い、慢性化した教育環境に新しい風を吹き込みました。教育ボランティアたちによって行われた画期的な活動の一例を見てみましょう：

- ベトナムのハノイにある病院の血液がん病棟にて、子供たち150人のために読書のワークショップ
- タイのクラビで、子供たち50人のために科学クラブ
- ベリーズのサンペドロの11の学校で、発想力を養うワークショップ
- ガーナとトーゴで、子供たちに栄養バランス良いを食事を提供し、古本を寄付したり本の読み聞かせを行うという週に一度の読書＆食事プログラム
- モンゴルのウランバートルで、子供たちにドラマや物語を聞かせるワークショップ
- ベトナムの田舎にあるリハビリセンターで、特別支援を必要とする子供たちが他の子供たちやスタッフ、ボランティアとコミュニケーションを取れるよう写真を使った冊子の作成
- タイのクラビの学校で、アクティビティを取り入れた学習。この子供が主体のアプローチは、少なくても303人の子供たちがテレビに費やす時間を削減し、社交性を高めることに成功

ホリデースクール

現地の学校がお休みに入る間に行われる課外活動は、学校教育の優先事項ではないように思われます。しかし、教育要素が強いプロジェクトアブロードのホリデースクールは、スポーツ、ゲーム、創造的な学習などが取り入れられ、子供たちが楽しく参加し、学ぶことができます。つまり、子供たちが新しい環境の中で学び、学校の休暇中も引き続き教育を受けられる貴重な機会なのです。2016年、ガーナ、フィジー、南アフリカ、トーゴ、タイなどの活動国で、プロジェクトアブロードのホリデースクールプログラムが実施され、合計615名の生徒たちの教育に貢献しました。

コミュニティ内での生涯学習

プロジェクトアブロードの教育プロジェクトは、子供たちへの教育を重視していますが、生涯学習として地域コミュニティ内で大人たちが学習を続けられる場への需要にも対応しています。

例えばベトナムでは、大学での勉強を完了できるよう、大学生に無料英語レッスンを実施しました。エクアドルの世界遺産ガラパゴス諸島にあるサンクリストバルでは、ボランティアたちが現地人80人に英語教室を行いました。ペルーでは、クスコに拠点を置くペルー文化省の役人30人全員に英語のレッスンを提供しました。一方、タンザニアのマイクロファイナンスプロジェクトのローン受益者たちは、全員読み書き能力の評価を受けます。ビジネス経営に必要な読み書き能力や基礎計算能力が不十分と判断された場合は、ボランティアが授業を行います。今後は、もっと多くのコミュニティで、大人が学習できる環境を整えていきたいと思っています。

人権

プロジェクトアブロードの人権プロジェクトは、発展途上国の地域コミュニティへの人権教育と法的援助拡大を目標としており、認識促進キャンペーンや法律相談所、社会正義プロジェクトなどに取り組んでいます。2016年、この人権プロジェクトは数々の功績を残しました。

タンザニアで行われている人権プロジェクトは、少年拘置所に拘束されていた75名のうち、69名の子供たちの正当な釈放実現に貢献しました。アルゼンチンのコルドバでは、小児性愛、人身売買、婦女暴行、家庭内暴力への反対を強く呼びかける一方で、急激な公共サービス料金引き上げへの抗議運動を行いました。また、医療従事者の権利や教育環境の向上を訴えるキャンペーンを実施しました。そして、養護施設に暮らす子供たちの法的権利についての本の出版にも協力。これは、現在行われている恵まれない地域で暮らす人々へのIDカード供給に関する活動の一環です。2016年、法律相談所は165の案件を扱いました。ガーナで行われている人権プロジェクトでは、家庭内暴力や子供の人身売買防止などに関する多くのキャンペーン活動を行いました。モンゴルで人権プロジェクトに参加したインターンの一人は、提案したLGBT（レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの人々）の権利に関するプロジェクトを実現するための助成金二年間分をアメリカ大使館から受け取るという快挙を成し遂げました。

南アフリカのプロジェクトアブロードの人権オフィス、通称PAHROは、ケープタウン中のタウンシップで法律相談所を設けています。2016年は、25,152時間の無償の法律サービスを提供し、235の案件が決着に至りました。これらの案件は、移民や家族法、財産権、IDカードや出征証明書の取得、障がいに対するアシスト、社会保障に関する案件などさまざまです。2017年は、残りの474の案件への対応を進めて行く予定です。

実際のケース

2016年の人権プロジェクトの大きな功績の一つは、2012年にケープタウンの人権オフィスに舞い込んだ案件の決着です。言葉では言い表せないほどの壮絶な恐怖を経験した女性難民の再定住申請が、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）により遂に承認。同年11月にアメリカ合衆国へ移ることが決定。この成果は、過去4年に渡って人権プロジェクトに携わったすべてのインターン、スタッフの懸命な努力の結果です。

4月

世界図書・著作権デーを記念して、
ボランティアがトーゴとカンボジアの
恵まれない地域コミュニティに自ら出向き、
子供たちのために移動図書館プロジェクトを実施

5月

リオオリンピックの7人制ラグビーで
フィジーを金メダルに導いた監督が、
環境保護プロジェクトのマングローブ植林活動に参加。
環境保護に対する認識と理解の促進に貢献

Projects Abroad supports the SDGs.

女性の社会的地位の向上

国連の持続可能な開発目標の情報集積システムによると、男女間の不平等の溝は未だ根深く、世界中で発展を遅らせているとのことです。そこで、プロジェクトアブロードは、性別に関係なく、人々が人権、財産、事業、教育の権利を得られるようなプロジェクトに取り組んでいます。

東アフリカに位置するタンザニアのアルーシャで行われている人権プロジェクトとマイクロファイナンスプロジェクトは、6つの地域コミュニティ出身の100人の現地人女性たちに手を差し伸べました。人権プロジェクトのインターンたちは、離婚、財産権、相続権、家族法関連の問題に直面しているタンザニアの女性たちに有益な情報やサービスを提供しました。西アフリカのガーナで行われているマイクロファイナンスプロジェクトは、74人の現地人女性たちにビジネス経営用のローンを貸し出し、トレーニングを行いました。インターンたちは、ローン受益者選出、トレーニング、事業計画、ビジネス運営、モニタリングに携わり、会社経営に必要なノウハウや資源を提供しました。ベトナムのコミュニティプロジェクトでは、少数民族のコミュニティ出身の20人の女性障がい者グループの伝統工芸品販売ビジネスを開発、支援しました。

栄養管理プロジェクトと医療プロジェクトは、定期的に妊婦や新生児へのケアを行っています。例えば、南アフリカのケープタウンでは、現地人栄養士と栄養管理プロジェクトに参加しているインターンたちが、現地の若いお母さんたちに授乳や乳児栄養についてアドバイスするプログラムを行っています。

アルゼンチンでは、医療アウトリーチ活動を通して150人の現地人女性を対象に乳がんや子宮頸がん検診の補助を行うなど、女性たちの医療サービスへのアクセス向上に貢献しました。ネパールでも同様の活動が行われ、首都カトマンズの恵まれない地域出身の女性たち70人に乳がん検診が行われました。

カンボジアでの地域コミュニティに根差したチャイルドケアプロジェクトは、現地の提携団体とともに、600人の子供たちの育児・保育に貢献し、お母さんたちがフルタイムの仕事を探せるようになりました。

2017年は、特にタンザニア、コスタリカ、スリランカ、ボリビアで女性の社会的地位の向上に貢献したいと考えています。

実際のケース：イタリア南部カラブリアでの難民支援プロジェクト

2016年、イタリア南部の海岸線を要するカラブリア州で、難民やより良い仕事を求めてやって来る移民たちへの支援活動を開始。この難民支援プロジェクトは、特に同伴者のいない未成年者や、保護者なしでイタリアに辿り着いた難民の子供たちのための施設での活動を柱としています。子供たちはこれらのセンターからサポートを受けていますが、長い登録作業を行わなければなりません。プロジェクトアブロードのボランティアたちは、これらの子供たち50人に教育や課外活動の場を提供しています。特に2016年は、新しくイタリアに到着した難民二人のイタリア生活への適応に大きな貢献を果たしました。

ヘルスケア

保健と衛生

毎年、世界中で何百万人もの貧しい人々が、不十分な水の供給や不衛生な生活環境により、予防可能な病気を原因に命を落としています。その中でも、特に女性と子供たちが高いリスクにさらされています。ボランティアたちは、計測ツールを使って、清潔度、食事の準備の仕方、個人衛生、汚物処理施設などを含む活動先の衛生状態を調査しました。そして2016年、68の活動先での衛生管理の基準が向上されました。

カンボジア、ガーナ、ケニアでシンプルな手洗い場を設置し、良い衛生習慣を自然と身に着けられるよう工夫しました。これにより、子供たちは食事の前や遊んだ後に手を洗うことを覚えました。ガーナやトーゴでは、ボランティアたちが活動先のスタッフに石鹸の作り方を教え、石鹸を安く手作りできるようになりました。

トイレの施設が整っていることは、地域コミュニティ全体の保健衛生に必要不可欠です。ガーナ、ネパール、ジャマイカの学校で、ボランティアたちがトイレ建設に貢献し、何千人もの子供たちが恩恵を受けました。ジャマイカでは、現地の教区議会とともに、高齢者や障がい者、母子／父子家庭など、コミュニティ内の社会的に弱い立場にいる人たちのために、汚物処理施設を建設しました。

ボリビアでは、水道料金が高騰しています。そこで、ボランティアたちが、家族が世話をしきれない障がいを持った子供たちのための施設で、水のリサイクルユニットを設置しました。結果、トイレで水が再利用されるようになり、水の有効利用とトイレの水道料金削減に貢献しました。

6月

世界海洋デー（World Oceans Day）を記念して、
カンボジアの環境保護ボランティアたちが
Koh Sdach島の学校で環境保護に関する
ワークショップを実施

7月

一年の中で一番忙しい時期を迎え、
世界中から2,176人のボランティアが新たに到着。
各活動国のボランティアコーディネーターは、
現地空港への皆さんのお迎えに大忙し！

Projects Abroad supports the SDGs.

アルゼンチン、ベリーズ、フィリピン、ジャマイカ、サモア、ボリビア、南アフリカで行われた栄養管理についての認識向上を目指すアクティビティやコミュニティアウトリーチ活動。直接的な恩恵を受けた人数は、6,000人

栄養管理

インターンたちは、多くの発展途上国が現在陥っている栄養管理問題の二重の危機を目の当たりにしました。栄養失調による発育阻害が進む一方で、肥満や非感染性疾患（生活習慣の改善により予防可能な疾患の総称）が増加していることです。

栄養管理や公衆衛生プロジェクトに参加したインターンたちは、数多くの医療アウトリーチ活動を行い、現地の専門家たちに協力しました。ベリーズでは患者175人の血圧測定と血糖値の検査を行い、そのうちの70%が非感染性疾患予備軍であると判明しました。アルゼンチンでは、検査を行った600人のうち30人が糖尿病または高い血糖値であることが分かりました。南アフリカでは、慢性疾患をサポートするグループとともに合計88回のワークショップを実施し、アドバイスやアセスメントを行いました。

栄養管理についての教育や、それに関連した問題への認識は重要です。アルゼンチン、ベリーズ、フィリピン、ジャマイカ、サモア、ボリビア、南アフリカで行われた栄養管理についての認識向上を目指すアクティビティやコミュニティアウトリーチ活動は、現地で暮らす人々6,000人に直接的な恩恵をもたらしました。コミュニティ、子供たち、運動選手、患者、サポートグループなどのさまざまな現地の人々にヘルシーなレシピや非感染性疾患についての情報、健康的な食生活や生活スタイルについてのサポートやアドバイスを提供しました。

医療検査や情報の提供だけでなく、非感染性疾患への高いリスクにさらされている人たちに健康的な食事も提供しました。南アフリカでは、ホリデースクールで1,800食、恵まれない境遇にいる子供たちのためのサーフィンプロジェクトを通して860食、スープキッチンで104食、現地の地域コミュニティ内で12,000食を含む、合計14,000以上の食事を提供しました。

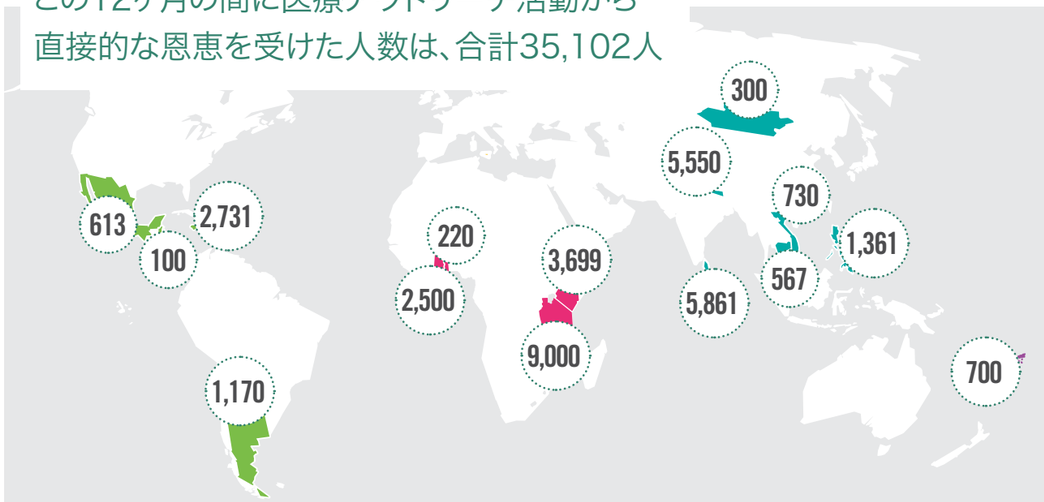
8月

高校生スペシャルプログラムが終了。
世界中で合計50以上の教室の修繕に貢献！

アウトリーチ活動

世界保健機関（WHO）は、世界中で推定4億人が基本的なヘルスケアサービスを受けられてないと指摘します。インターンたちは、現地の医療専門家とともに恵まれない境遇にいる人々に医療アウトリーチ活動を行い、基本的なヘルスケアサービスを提供しました。この医療アウトリーチ活動は、健康に対する認識と理解を深めるプログラムや簡単な医療テストを含みます。各国での医療アウトリーチ活動の具体例を見てみましょう：

この12ヶ月の間に医療アウトリーチ活動から直接的な恩恵を受けた人数は、合計35,102人



アルゼンチン
口腔衛生管理の向上や、インフルエンザや蚊を媒体して発症する病気予防に貢献。乳がん、子宮頸がん、心臓病の検査を提供
直接恩恵を受けた人々：1,170人

ガーナ
ハンセン病キャンプでの毎週のアウトリーチ活動で、基礎医療ケアを提供。地元のマーケット、コミュニティ、学校での定期的なアウトリーチ活動では、人命救助につながるマラリアの感染検査を実施
直接恩恵を受けた人々：2,500人

カンボジア
ケアセンターや田舎の住宅、島の地域コミュニティを訪問し、公衆衛生に貢献
直接恩恵を受けた人々：567人
うち127人は、離島のKoh Sdach島に暮らす人々

スリランカ
43の医療キャンプで、無償でバイタルサインを測定し、処方された薬剤の無償提供を補助
直接恩恵を受けた人々：5,861人

ベリーズ
健康フェアにて、地域コミュニティに暮らす人々へ血圧、血糖値、腎機能の検査を提供
直接恩恵を受けた人々：100人

ケニア
定期的な駆虫プログラムを含む36回の医療アウトリーチ活動を実施
直接恩恵を受けた人々：3,699人

モンゴル
恵まれない境遇やホームレスの人たちのコミュニティに、応急処置やヘルスケアを中心とした11回の医療アウトリーチ活動を実施
直接恩恵を受けた人々：300人

ベトナム
再現可能な健康に関する教育、HIV/エイズへの認識促進、応急処置のトレーニング、障がい者へのケアや検査、ジカ熱、皮膚がん、虫歯、肺炎への認識促進プログラムを実施
直接恩恵を受けた人々：730人

ジャマイカ
学校や10の歯科医院で、12回の医療アウトリーチ活動を決行
直接恩恵を受けた人々：学校の子供たち2,000人と歯科医院で731人

タンザニア
2つの活動地域で、モバイルクリニックを含む合計90回の医療アウトリーチ活動を実施
直接恩恵を受けた人々：9,000人

ネパール
ホームレスの人々の歯の検査や、学校での栄養失調の子供たちのスクリーニングを含む、定期的な医療アウトリーチ活動を実施
直接恩恵を受けた人々：5,550人

フィジー
「Fight the Bite」キャンペーンにより、現地コミュニティに蚊を媒介した病気について教育
直接恩恵を受けた人々：700人

メキシコ
基礎ヘルスケアを提供する17回の医療アウトリーチ活動を遂行
直接恩恵を受けた人々：613人

トーゴ
保健衛生、健康についての教育、基礎ヘルスケア中心の定期的な公衆衛生アウトリーチ活動を実行
直接恩恵を受けた人々：孤児200人とストリートチルドレン20人

フィリピン
16の現地の地域コミュニティで公衆衛生アウトリーチ活動を実現
（55%の人たちが非感染性疾患予備軍であると判明）

メモ：医療アウトリーチ活動は、資格を持った医療関係者によるトレーニング後、常に彼らの監督下で行われました。インターンによる対応可能範囲を超える場合は、必要に応じて医師に報告されています。

環境に与える影響

森林再生

2016年、フィジー、ケニア、モンゴル、トーゴ、エクアドル、マダガスカル、コスタリカ、カンボジア、タイで、植林活動をリード。フィジーだけで14,820本の植林を達成し、さらに何千もの植林を実現するため、苗床を建設。マングローブの重要性は、フィジー、タイ、カンボジアで共通しています。マングローブは、浸食や嵐から海岸線を保護し、サメを含む稚魚の住みかとして最適なだけでなく、1ヘクタールあたりの二酸化炭素吸収量は熱帯雨林の数倍にも及びます。

コスタリカのバラ・オンダ国立公園で、固有種1,500本の植林を行い、現地のエコシステムのバランス均衡促進に貢献。プロジェクトアブロードの活動国として新たに加わった国の一つマダガスカルでは、固有種390本が植えられました。

エクアドルのガラパゴス諸島では、20km以上のエリアから外来植物を取り除き、8つのウミツバメの巣を保護。

ペルーのアマゾン熱帯雨林からの最新情報

ペルーのアマゾン熱帯雨林での環境保護プロジェクトは、今年で設立から15年以上を迎え、2016年は、さらなる飛躍を遂げました：

- 先駆的なクモザル再生息プログラムにより、第5グループのクモザルが自然に返されました
- サーカスからメガネグマを救助し、プロジェクトアブロードのアニマルレスキューセンターへ。メガネグマの保護は今回で4頭目
- プロジェクトアブロードのボランティアにより、三度目の新種の野鳥の存在を確認、登録成功
- プロジェクトアブロードのアニマルレスキューセンターが、ペルー国内で二番目に最高の動物保護センターの称号を受賞
- ペルー国内でジャガーの移転に初成功

汚染の食い止め

2016年、海岸線、地域コミュニティ、自然保護区、国立公園から合計17トン以上のゴミを撤去しました。そのうち1トンは、カンボジアとタイでのダイビングによる環境保護活動中に海中から回収されたものです。これらの清掃活動は、現地の動植物の住みかを守る重要な活動です。残念ながら、清掃活動を行うたびに前回収集したよりさらに多くのゴミが捨てられています。この問題を打開するため、環境保護プロジェクトでは、環境保護に対する認識を促進するキャンペーンに取り組んでいます。

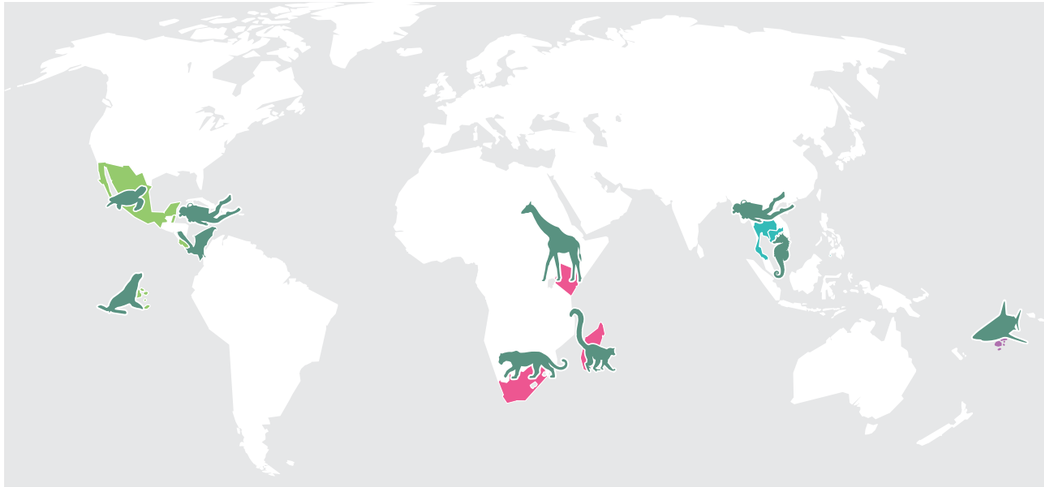
フィジーでのプロジェクトアブロードの草分け的なサメ生態保護プロジェクトは、人気の観光リゾートをカーボンニュートラルにする試みに取り組んでいます。リゾートで働くスタッフと宿泊する観光客がマングローブを植え、無駄を削減し、プロジェクトアブロードのボランティアの協力のもと、環境保護に対する認識と理解の向上を促進しています。一方タイでは、現地の学校で子供たちに健康な珊瑚礁について教育し、周辺のダイビングスポットで有名な美しい海の汚染を進めているプラスチック製や発泡スチロール製の食品容器の使用を最小限に抑えるよう地元のレストランに促しています。

コスタリカのバラ・オンダ国立公園で活動するボランティアとスタッフは、現地の5つの学校のBlue Flag（コスタリカの海を守る秀でた貢献をしたものにのみ与えられる名誉ある賞）受賞の立役者となりました。これは、廃水による汚染を食い止めるようデザインされたバイオガーデンや環境保護への認識促進キャンペーンのおかげです。タイでは、リサイクルステーションを設置し、ボツワナやケニアでは、仕掛けられた500以上の罠や25km以上のワイヤーを取り除き、野生動物の保護に貢献しました。

プロジェクトアブロードの活動国の多くの地域コミュニティは、その手つかずの自然を観光や漁業に利用し、収入源としています。汚染の抑制と環境保護に対するより徹底的な政策を実行に移せるよう、プロジェクトアブロードは現地の地方自治体に清掃活動で収集したすべてのデータを提供しています。

データ収集

環境保護には、データ収集が不可欠です。これらのデータは、現地の動植物の状態や可能性のある脅威への理解に役立てられます。実際、環境保護プロジェクトによって集められたデータは、分析や情報の共有を可能にし、現地の国立公園や地方自治体が規制を行ったり、対策が必要なエリアの洗い出しを助けます。今年行われた環境保護プロジェクトの取り組みの一部を数値で見てみましょう：



ベリーズ

4つの海洋保護区をサポート

エクアドル

カメ166匹と生まれたてのアシカ260頭をモニタリング

コスタリカ

仕掛けたカメラがアルマジロとオセロット各一頭とスカンク11匹を含む162枚の写真撮影に成功。他、コウモリ916匹、サル614匹、コンゴウインコ21羽、バタフライ1,392頭のデータを収集

メキシコ

ウミガメの卵98,751個を回収し、密猟者から保護。孵化して自然に返すことに成功した卵は合計200万個以上

ケニア

192回のキリンの調査、384時間に及ぶライオンのモニタリング、哺乳類の個体調査用センサーカメラが1,200枚の写真撮影に成功

マダガスカル

キツネザル6種（絶滅危惧の一種を含む）と絶滅危惧の植物56種の識別に成功

南アフリカ

保護区に仕掛けたカメラが、プロジェクトアブロードとしては初となるカッショクハイエナの赤ちゃん、ラーテル、ヒョウ、ツチブタなどの写真撮影に成功

カンボジア

妊娠中のオス2匹を含むタツノオトシゴ50匹を識別！

タイ

珊瑚礁の健康状態と比較しての魚の配置を研究するため、魚の調査582回

フィジー

ダイビングによる海洋調査352回とBRUV（遠隔操作できる水中ビデオ）設置45回を通して、世界的なモニタリングのプラットフォームSharkBaseやeSharkへのデータ貢献トップ5入り

9月

活動国にミャンマーが追加。
ろう学校でのケアや修道院の子供たちに
英語を教えるボランティア活動を開始！

10月

読み書き能力向上の一環として、ベリーズで
音声学を取り入れたプログラムを始動。
子供たち54人が参加

経済に与える影響

プロジェクトアブロードの活動によって、全活動国で合計600人以上のスタッフの雇用を創出。さらに何百人ものドライバー、ホストファミリー、ゲストハウス、観光業に従事する人たちに安定した収入をもたらしました。

プロジェクトアブロードは、インフラ整備や建設に人材という労働力を提供することによって、現地の地域コミュニティが自立への第一歩を踏み出すことを確信しています。今後も、各活動国で持続可能な建築プロジェクトを進めて行く方針です。

実際のケース：ネパール大地震災復興支援

2015年4月にネパールを襲った大地震。その直後の2015年6月、プロジェクトアブロードはネパールで大震災復興支援プロジェクトを始動しました。このプロジェクトの目標は、崩壊した学校の再建に貢献することによって、現地の子供たちが再び学校教育を受けられるようにすることでした。

プロジェクト開始直後、カトマンズ渓谷にある9校の学校再建に成功。これにより、合計96の教室に再び命が吹き込まれました。

自立の重要性

プロジェクトアブロードのボランティアたちの貢献は、活動先の自立への第一歩につながっています。

ケニアで「高校生スペシャル」プログラムに参加した高校生ボランティアたちが、牛小屋を建設。高齢者や末期患者のためのホスピスに建てられたこの牛小屋は、安全に家畜を飼い、滞在者への乳製品提供を可能にしました。

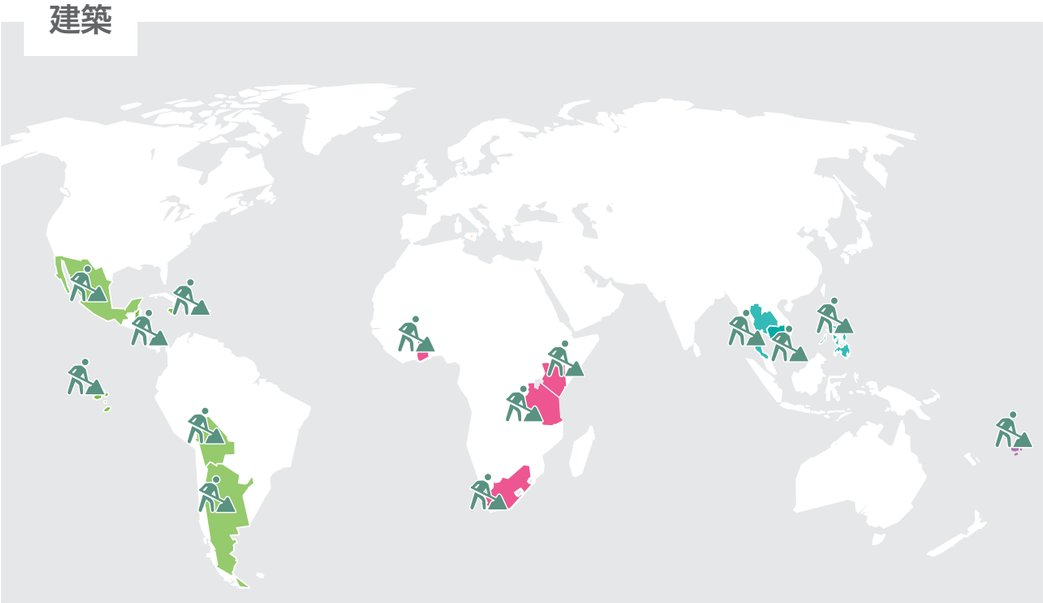
ジャマイカでボランティアたちがニワトリ小屋を建設。地域コミュニティに暮らす障がい者の男性のために建てられたこのニワトリ小屋は、彼の貴重な収入源となりました。特別支援センターのために小さな農場設置にも成功。食糧源となっただけでなく、スキルを習得するトレーニングを提供する場へと化しました。

コスタリカのバラ・オンダ国立公園にバイオ消化装置を設置。この設置は、中米で初という快挙。バイオ消化装置は、廃水を使ってのメタンガス産出が可能。メタンガスは、調理用燃料やエネルギー創出に利用されます。

マダガスカルのアンダサイブでエコストーブ建設に初成功。現地の家庭に設置され、燃料消費削減の実現と共に、各家庭で水を沸騰させ、安全な飲み水を確保できるようになりました。

ペルーと南アフリカの学校が、設置された有機菜園を有効利用。南アフリカのケープタウンのタウンシップに20のガーデンを設置。ケープタウンの地元のマーケットでの収入につながるよう、現地で暮らす人々に編み物と裁縫のワークショップを52回開催しました。

建築



ペルー

遺跡発掘現場Pikillaqta付近の学校をリフォーム、ケアセンターの床に伝統的なゲームをペインティング、学校の備品を製作

ベリーズ

ハリケーンEarl後の浸食の被害から、家2軒を保護

エクアドル

10の教室をペインティング

ジャマイカ

学校のトイレを建設、学校2校を改装、遊び場1つとコミュニティ施設2軒を建設

メキシコ

筋ジストロフィー扱う医療センターで、水治療法のためのエリアを修繕

アルゼンチン

低所得の家庭出身の子供たちのために、図書館やビデオ図書館を設計・建設

ケニア

子供たちが遊べるよう、サッカー場を整備

タンザニア

4つの教室を建設し、さらに2つの教室を建設中。プロジェクトアブロード運営のマサイ族の学校の教師用宿泊施設も建設

ガーナ

4つの教室、教師用の宿泊施設、トイレを建設。学校7校を改装、各教室用に8つの本棚を製作

ボツワナ

自然保護区へのアクセスを改善するために道路を修復、深刻な干ばつの間に送水ポンプに動力を与える風車を設置、野生動物たち用に雨水を溜められるようダムを建設

フィリピン

学校2校を再建、家4軒の修繕と1軒の建設、教室3つを設置。さらにもう1つの教室と遊び場を改装。影響を与えた生徒数は合計2,126人

カンボジア環境保護

島にある学校の4つの教室をペインティング

タイ

学校の5つの壁を教育的な壁画に改装

フィジー

サイクロンWinstonで被災した40の家庭に寄付。温室ビニールハウスを設置、幼稚園をリフォーム、各一万本を植林できるマングローブの苗床を4つ建設

11月

サモアの栄養管理プロジェクトに参加したインターンたちが、スペシャルオリンピックサモア代表の選手や監督たちと共に活動！

12月

脳性まひを抱える南アフリカ人のAshtan Davidsさん。サーフィンプロジェクトのボランティアたちからサポートを得て、Adaptive Surfing Championshipsの大会に出場！

2016年、何千人ものボランティアたちが乗り出した旅路の向こうでは：

ProjectsAbroad
プロジェクトアブロード

「助け合う…」
コミュニティの再建
エコシステムの再生
小規模ビジネスの発展

「学ぶ…」
生き抜く術
一個人としての成長
知らなかった異なる人生

「冒険する！」
自分の殻を打ち破り
自分の潜在能力を最大限に発揮するため
プロジェクトアブロードと一緒に世界へ